

第10号

パークらぼ通信

公園拡張をきっかけとしたみんなで進める公園づくり

令和8年度の全面開園に向けて、
デザインDAYを開催します！
詳しくは6～7ページをご覧ください。



区民が参画して
運営する公園をめざして

玉川野毛町の拡張工事が進んできています。開園後の区民参加の公園運営について、区民の有志の組織である「玉川野毛町パークらぼ区民の会」のメンバーが中心となって検討、準備に取り組んでいます。まずは、これまで活動してきた9つのらぼプロジェクトチームの活動や実現したいことについてまとめました。次のページをご覧ください。



第五回

公園工事・建築工事の状況

公園のカタチ

令和6年10月から着手している拡張予定地の建築工事と公園工事が着々と進み、公園のカタチが見えてきました。

建築工事

建築工事では、木造平屋建てとなる拠点施設の骨組みができ始め、毎週日曜日の開放日で来園者の注目を集めています。整備後は、軽飲食や休憩ができ、様々な公園利用や区民活動を支えるための施設となります。

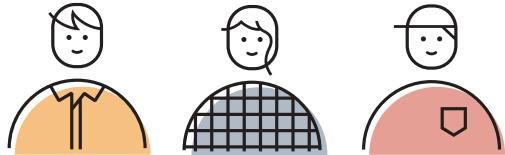


公園工事

公園工事では、敷地南側の雨庭の森（レインガーデン）の整備が進んでいます。大小様々な景石が配置され、公園の雨水を一時的に蓄える機能を有した環境に整備されます。これから敷地北側みどりのエントランスのエリアに整備が進んでいく予定です。

玉川野毛町公園が100年後も地域に愛され、
みんなの暮らしの舞台となるように、
各らぼプロジェクトがどのような思いで活動し、
地域と共に歩もうとしているかをまとめてみました。

- 1 活動の目的
- 2 開園のときに実現したいこと
- 3 できたらいいな、こんなこと…



チーム循環

- 1 ウエルカムガーデンを舞台に、花壇の計画づくりと資源循環に取り組みを進めています。
- 2 みんなで野菜も育つ花壇をつくり、物を大切にする心も共に、人々との繋がりを深めたい。
- 3 地域との関わりを大切に、地域ならではの資源循環の仕組みが動き出したら…



動物ふれあい



- 1 みんなが楽しめる公園の魅力の一つとして「動物のいる風景があるといいな…」との思いが。ヤギを呼ぶイベントを実施し、動物のいる公園のあり方を考えています。
- 2 地域の子どもたちとヤギを間近に見ながら、生き物との学びと癒しの機会を作りたい。
- 3 公園を利用する方がヤギとふれあって、のんびりとした風景と癒しの場になれば…



野毛町ヒストリー



- 1 国分寺崖線に連なるこの地の歴史や地形が生み出す水の流れなど、この地ならではの魅力の数々を地域に伝えています。
- 2 周辺の散策ツアーや地形のわかる模型の解説など、地域の魅力を多くの人々に伝えたい。
- 3 拠点施設も活用しながら連続した講演会を続け、地域の方々とも交流しつつ歴史を深掘りしていく。



「玉川野毛町パークらぼ区民の会」とは？

玉川野毛町パークらぼ区民の会は、玉川野毛町公園及びその周辺地域において、世田谷の先人たちを育んだ豊かなみどりと歴史・文化を区民の手で大切に育み、100年後も地域に愛される公園を目指し、発足しました。みんなと一緒に試行錯誤しながらつくっていく、という新しい公園を実現すべく、区民にできる、地域に根ざした実践的活動を推進し、玉川野毛町公園及びその周辺地域を活動エリアとして、世田谷区や事業者との協働による公園運営に参画する区民組織です。



青空ヨガ

- 1 公園の魅力は、広い空、草の匂い、鳥の声…自然を感じながら地域の方々と一緒にヨガ体験しています。
- 2 健康な身体づくりを通じて、顔見知りが増えたり、居場所になったりするコミュニティをつくりたい。
- 3 公園にも多様な姿があるように、多くの参加者が色々と楽しめる様々なヨガ体験を…



公園のウェルネスを考える

- 1 日常生活での少しの工夫で、防災力を高める取り組みを考え、試行しています。
- 2 災害時にも実践できるデイキャンプ場を活用した防災食づくりなど、地域防災にも役立つ取り組みを考え、チャレンジしたい。
- 3 子どもたち公園利用者と共に、防災について学び、理解を広げていけたら…



各らぼプロジェクト活動で共通する想い

9つのプロジェクトチームの想いには、重なり合う点や今後連携できそうな活動内容もありました。

愛される公園

地域の人たちとの係わりのなかで育んでいくこと…

子どもを大切にする公園

子どもたちの気持ちや感性に寄り添うこと…

環境を育くむ公園

物を大切にし循環させること…

東京都市大ISO会員会

- 1 公園をもう一つの学びの場として、自然を実感し、様々な人と係わりを通して、環境問題についての考え方やその価値について学んでいます。
- 2 他のグループともっと繋がりを持って、公園内の資源循環などの環境創造に取り組みたい。
- 3 この公園での体験をきっかけに、学生の力を地域コミュニティの繋がりに活かせたら…



キッズチーム



- 1 絵本を通じ、地域の子どもたちや人々との緩やかな交流を進めてきています。
- 2 拠点施設の中にも、四季に応じた絵本のあるキッズ文庫を作り、子どもたちへの読み聞かせやリースづくりなど体験の機会をつくりたい。
- 3 多くの人と進めてきた公園づくり。この公園を舞台にした絵本を作ってみたい…

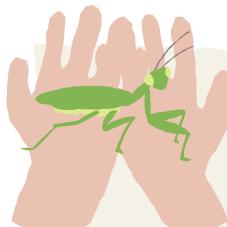


どんぐりプロジェクト



- 1 地球環境に重要な循環型の暮らしと共にある雑木林を再生し、木々の中で様々な楽しみ方ができるよう、苗木の植樹や体験イベントを実施しています。
- 2 「協働の森」をフィールドに幼樹を育て、草刈りや自然に触れるイベントなどの活動をしながら、どんぐりの森を育てていきたい。

- 3 公園に係わる人と共に、地域を含めた自然環境を大切にしていけたら…



生き物調査



- 1 生き物たちの繋がり合いに着目しながら、公園の自然を観察してきています。専門家を交えた学びの場も企画・開催しています。
- 2 地域の皆さんと共に、公園の緑の将来像を考える対話の場をつくり、地域のステキな環境づくりに寄与したい。
- 3 生き物調査の記録をベースに、周辺のみどりの将来像を考える対話の場をつくりたい…

これまでの意見をふまえた公園のレイアウトは次のページ →



みどりのエリア 利用イメージ



みどりのエントランス



拡張整備とあわせて公園の顔となる既開園区域をつなぐ「エントランス広場」

- 既存公園区域（古墳のエリア）から拡張区域（みどりのエリア）への入口となる広場。
- 四季を通じて草花が彩り、公園の出入口を演出する。

ナーセリー



公園の管理運営に必要な物を納める倉庫棟。作業するスペースもある。

- ナーセリーとは、一般的には植物の苗を栽培する所という意味があります。
- 区民活動の資材や物品を置く倉庫。

雨庭の森



雨水を一時的に貯留し、浸透を促す雨庭（レインガーデン）のある森

- みどりのエリアを構成する雨水浸透機能を兼ね備えた修景ゾーン。
- 雨庭の森を展望するデッキ、周回園路があり散策できる。



バックヤード

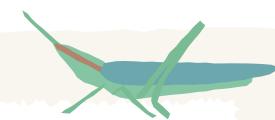


玉川地域の公園等で排出されるごみや落ち葉などの集積場所。

- ごみ集積所の他に、広域防災倉庫を設置。



これまでの公園づくりの検討の中で、 話し合い、生み出された各ゾーンの利用イメージをまとめます。



拠点施設

| 公園運営事業者が常駐し、公園の利用案内やマナー啓発など公園運営の拠点となる施設

- ・施設内には休憩スペースがあり、軽飲食の提供サービスもある。
- ・区民や公園運営業者、区で企画する公園利活用の展示・イベントを実施できる場所。
- ・区民活動の成果や自然解説の展示。



草地の広場

| 樹木や地形が形づくり、多様な区民活動を支える草地の広場

- ・みどりのエリアの中央、拠点施設前に位置する。
- ・木々の木陰で、のんびりとピクニックするスペース。
- ・区民活動や公園活用イベントなどが開催される。



協働の森

| 既存のみどりを活かし、生きものの拠点となる森づくりを行う「濃いみどり」

- ・生きものの拠点となる樹林のゾーン
- ・濃淡のある樹木環境の管理
- ・区民が係わる自然的環境の観察の場



公園の利用について考える

デザインDAYを

開催します！

1 公園 の利用イメージを考える

それぞれのゾーンでの利用ルールや共通する考え方など、利用者の視点を大切にしながら、みなさと考えていきたいことがあります。新しくできる協働の森など、区民協働の管理運営に取り組みつつ、どんな公園利用が生まれていくのかイメージしていきましょう。

それぞれのゾーンで検討したい利用イメージやルール

みどりのエントランスゾーン



- 草花が入口を彩るゾーン
- 区民管理の花と野菜たち
- 資源の循環を実践

デイキャンプコーナー



- 子どもの体験の場
- 防災教育の活用
- 近隣への配慮

草地の広場



- 拠点施設前の中にある
- みどりを感じるスペース
- のんびりと憩い集える

ナーセリー



- 公園管理活動の物品倉庫
- 管理活動の作業スペース
- 区民管理での利用

雨庭の森



- 雨水浸透の修景ゾーン
- みどり保全のスペース
- みどりの鑑賞観察の場

協働の森



- 生きものの拠点ゾーン
- 区民が係わる樹木管理
- 身近な自然観察の場

それぞれのゾーンに共通する考え方や主な検討事項

みどり・環境

- 区民の手でみどりを育て更新する
- 将来を見据えたみどりのあり様を考える場の創出

防犯・安全

- 公園施設の安全な管理
- 公園の日常的な防犯
- 地域の安心安全への貢献

イベント利用

- 公園利活用のイベント計画の立案
- イベント予定の案内周知
- 制限行為許可の運用

防災・災害対応

- 防災計画や所管との連携
- 避難場所としての役割の想定
- 日頃からの防災活動と準備

サインデザイン

- 余白のあるうるさくないデザイン
- 必要なことを的確に伝える工夫
- 利用者や近隣などの相互理解

資源循環

- 管理発生物の循環
- 日常生活でのエコ推進

利用のルール

- 公の施設のゆずりあいの利用
- 規範と安全を尊重した利用
- 自転車の乗入れやボール遊び

愛称・ネーミング

- 利用に即した施設の名称
- 子どもも親しめる愛称
- みんなで考え愛着あるネーミング



令和7年(2025年)

11月8日(土)午前 デザインDAY1(公園) で検討します!

玉川野毛町公園拡張区域「みどりのエリア」の利用

これまで、公園の風景や施設をデザインしてきました。次は、公園の施設プランにあった利用方法やルールについて考えます。多くの人が公園に親しみを感じ、みんなで利用する公園のイメージをデザインしてみましょう！

2

拠点施設の利用イメージを考える



木々の温もりを感じる拠点施設。室内の利用イメージや運用ルールについて、みなさんと考えたいことがあります。区民活動の場としても活用しつつ、多くの人が訪れ、興味深く楽しめる拠点施設の利用イメージを考えてみましょう！

施設内の各部屋で検討したい利用イメージやルール



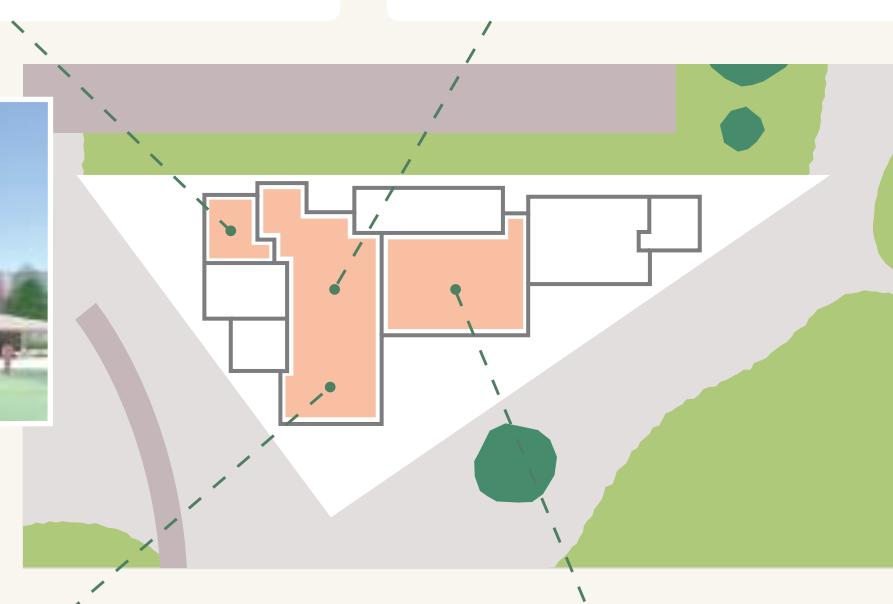
多目的室

- ・靴を脱いでの利用と活用
- ・ミニキッチンの使用方法
- ・ミニワークショップの開催
- ・授乳室利用との調整



ロビー

- ・親しみを感じ入りやすい空間づくり
- ・常駐スタッフとの交流促進
- ・公園や地域の情報交換の活性化
- ・カフェとの休憩空間の調整



展示スペース

- ・公園利用の案内サイン
- ・区民活動の展示内容と手法
- ・展示場所の確保
- ・展示キットの活用方法
- ・環境教育や絵本の提供



体験学習施設

- ・休憩スペースとして日常的な開放
- ・工作体験などの日常利用
- ・区民協働イベントの実施と調整
- ・環境学習会などの開催
- ・地域イベントの利用イメージ

令和7年(2025年)

12月13日(土)午前 デザインDAY2(施設) で検討します！

どなたでも参加できます /

今後の予定

※開催詳細はホームページをご覧ください。



デザインDAYを開催します。ぜひご参加ください

令和8年度のオープンへ向け、区民の参画を基本に、公園を多くの人に利用してもらうアイデアやみんなで使うルールなど、考えたいことがたくさんあります。

地域の方々と検討していきますのでぜひご参加ください。デザインDAYのご参加は事前申し込み不要です。

10/24(金)、
10/25(土)

玉川野毛町公園 拡張予定地開放
秋のオープンパーク

時間：10時～16時
場所：玉川野毛町公園拡張予定地（開放エリア）
※荒天延期日程：10月26日（日）



11/8(土)

みなさんと公園のデザインを考える
デザインDAY1(公園)

時間：10時～12時30分
場所：二子玉川分庁舎1階大会議室（世田谷区玉川1丁目20-1）



12/13(土)

みなさんと公園のデザインを考える
デザインDAY2(拠点施設)

時間：10時～12時30分
場所：二子玉川分庁舎1階大会議室（世田谷区玉川1丁目20-1）

1/31(土)

みなさんと公園のデザインを考える
デザインDAY3(開園へ向けて)

時間：10時～12時30分
場所：二子玉川分庁舎1階大会議室
(世田谷区玉川1丁目20-1)



区民との協働による開園準備



令和8年春
(予定)

玉川野毛町公園拡張
開園・利用開始！！

玉川野毛町公園拡張区域「みどりのエリア」開園へ向けて、多くの人たちとともに考え、動きながら準備を進めてまいります。区民が参画して運営する公園づくりに、ご理解、ご協力をお願いいたします。



パークらぼメンバー募集

パークらぼでは、常時メールマガジンでの情報を希望者にお届けしています。配信をご希望の方は、玉川野毛町パークらぼ事務局までご一報ください。

パークらぼメンバーへの参加は、右の二次元コードよりお申し込みください。

二次元コード



参加申し込み

【パークらぼに関する問合せ】

玉川野毛町公園拡張事業 協働の公園づくり 玉川野毛町パークらぼ事務局
メール：parklab@nogemachi-parklab.com



ホームページ インスタグラム

www.nogemachi-parklab.com

@nogemachi_parklab